

Tokyo

東京都美術館

Metropolitan

アートへの入口

Art

心のゆたかさの拠り所

Museum

○ご利用案内

【開館時間】

9:30-17:30

*特別展開催中の金曜日は9:30-20:00

*いずれも入館は、閉館時間の30分前まで

【休室日】

特別展・企画展：毎週月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日）

上記以外の展覧会：第1、第3月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日）

【全館休館日】

毎月第1、第3月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日）

年末年始

*この他、工事等に伴う臨時休館、臨時休室日があります。

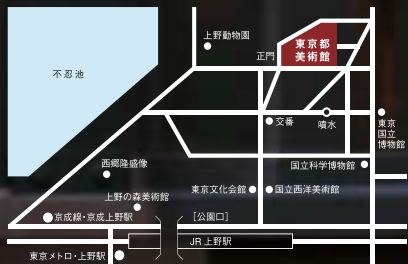
【アクセス】

・JR「上野駅」公園口より徒歩7分

・東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」7番出口より徒歩10分

・京成電鉄「京成上野駅」より徒歩10分

*駐車場はございませんので、車でのご来館はご注意ください。



東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

ボッティチェリ展 | Botticelli e il suo tempo

2016年1月16日(土)→4月3日(日)

東京都美術館 [東京・上野公園] 企画棟 企画展示室

東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

T110-0007 東京都台東区上野公園8-36 Tel.03-3823-6921 Fax.03-3823-6920
http://www.tobikan.jp Twitter:tobikan_jp Facebook:TokyoMetropolitanArtMuseum
Tokyo Metropolitan Art Museum Vol.7 / 発行日:2016 [平成28]年1月12日
企画・ディレクション:進藤美穂子 編集:岩原明子 翻訳:アムスタッフ プライアン
デザイン:近藤一弥 撮影:平方正昭 齋藤さくら
発行:東京都美術館 [公益財団法人東京都歴史文化財団]
©2015 Tokyo Metropolitan Art Museum



〈ラマ家の東方三博士の礼拝〉1475-76年頃 テンペラ、板 ウフィツィ美術館
Adoration of the Magi, c. 1475-76, Tempera on panel, Galleria degli Uffizi, Gabinetto Fotografico del Polo Museale Regionale della Toscana
Su concessione del MIBACT. Divieto di ulteriori riproduzioni o duplicazioni con qualsiasi mezzo

サンドロ・ボッティチェリ(1444/45-1510)は、優雅で美しい聖母や神話の女神を描いた画家として知られます。その作品は多くが板に描かれ、きわめて繊細であるため、まとまった数の来日はこれまでに叶いませんでした。日伊国交樹立150周年記念として実現する本展は、フィレンツェをはじめ世界各地から20点以上のボッティチェリ作品を集め、その画業を一望する大回顧展です。

フィリッポ・リッピの工房で修業を積み、生涯のほとんどをフィレンツェで過ごしたボッティチェリは、メディチ家の画家として名を馳せ、大型の祭壇画から私的な神話画まで、幅広い主題の絵画を手掛けました。同時代の芸術家たちが、遠近法や明暗法を駆使した自然主義的な表現に向かうなか、ボッティチェリは中世美術を思わせる装飾的、象徴的な様式を貫き、独自の絵画世界を作り上げます。本展においては、初期から晩年までの宗教画、神話画、肖像画を通して、ボッティチェリ作品の特徴と魅力を紹介するとともに、師のフィリッポ・リッピや弟子のフィリッピーノ・リッピの作品をあわせて展示し、15世紀フィレンツェにおける絵画表現の系譜をたどります。

Sandro Botticelli (1444/45-1510) is known for his paintings of elegantly beautiful Madonnas and goddesses of myth. Because many are painted on wood panels and are in extremely fragile condition, an exhibition of a substantial number of Botticelli paintings has never been realized in Japan. This time, on the occasion of the 150th anniversary of the establishment of diplomatic relations between Japan and Italy, we are presenting a large-scale traveling exhibition that surveys Botticelli's artistic legacy through more than 20 works gathered from Florence and other regions of the world. Botticelli, who was trained in the studio of Filippo Lippi and spent most of his life in Florence, rose to fame as a painter of the House of Medici. Under the Medici's patronage, he undertook paintings of wide-ranging subjects, from large-scale altarpieces to privately commissioned mythological paintings. While his contemporaries turned to naturalistic expression employing their command of perspectival space and chiaroscuro, Botticelli never deviated from a decorative, symbolic style reminiscent of medieval art and created his own, instantly recognizable world. Along with presenting the characteristic features and fascination of Botticelli's work through religious paintings, mythological works, and portraits from his early years to his late period, the exhibition includes works by his master, Filippo Lippi, and pupil Filippino Lippi and traces his artistic lineage.



© Botticelli and His Time
January 16 (Sat) – April 3 (Sun), 2016
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM [TOKYO, Ueno-Park] Special Exhibition Wing
Opening Hours: 9:30–17:30 (Fridays, 9:30–20:00)
*Admission until 30 min before closing time.
Closed: Mondays, March 22 (Open the Mondays of March 21, 28)
Organized by: Tokyo Metropolitan Art Museum (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture), The Asahi Shimbun, TBS
Admission: General ¥1,600(¥1,300) / College students ¥1,300(¥1,100) / HS students ¥800(¥600) / Seniors 65+ ¥1,000(¥800)

- *1) Group rates – 20 or more people.
- *Free admission for junior high school students or younger.
- *Free admission for visitors with physical disabilities, mental disabilities and atomic bomb disease (ID required) and one accompanying person.
- *Tokyo Metropolitan Government has designated every third Wednesday as "Silver Day", on this day visitors 65 years of age or older can visit the venue for free (January 20, February 17, March 16). Crowds are expected on this day.
- *Tokyo Metropolitan Government has designated every third Saturday and following Sunday as "Family days". On these days, visitors residing in Tokyo and accompanying children 18 years of age or younger, can visit the venue for half off the regular admission. (ID required)
- *In each case, please show identification.
- *Free admission for schools in Tokyo visiting the venue for education purpose. (Pre application required)

[展覧会基本情報]

◎ボッティチェリ展

2016.1.16(土)→4.3(日) 東京都美術館 [東京・上野公園] 企画棟 企画展示室

開室時間:9:30-17:30(入室は閉室の30分前まで)

夜間開室:金曜日は9:30-20:00(入室は閉室の30分前まで)

休室日:月曜日、3月22日(火)

*ただし、3月21日(月・休)、28日(月)は開室

主催:東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)、朝日新聞社、TBS

観覧料(税込):一般1,600(1,300)円/学生1,300(1,100)円/高校生800(600)円/65歳以上1,000(800)円

*1)は20名以上の団体割引 *中学生以下無料

*身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその他の方(1名まで)は無料

*1月20日(水)、2月17日(水)、3月16日(水)はシルバーデーにより、65歳以上の方は無料(混雑が予想されます)

*毎月第3土曜・翌日曜日は家族ふれあいの日により、18歳未満の子を同伴する保護者(都内在住、2名まで)は一般当日料金の半額

*いずれも証明できるものをご持参ください

*都内の小・中・高等学校の学校教育活動として観覧する場合、引率の教員は無料(要事前申請)

Special Interview

◎インタビュー:井上涼 [アーティスト] | INOUE Ryo

美術鑑賞にルールなし。自分なりの鑑賞法をみつけるとアートがもっと身近になる。



広告のアートディレクターを経て、現在はアーティストとして活躍する井上涼さん。2013年よりスタートした世界の「びじゅつ」を歌とアニメで紹介するテレビ番組「びじゅチューン!」(NHK Eテレ)では、作詞、作曲、歌、アニメ制作のすべてを手掛け注目を集めています。実は以前は美術鑑賞に苦手意識を持っていたという井上さんに、美術鑑賞を楽しむようになったきっかけ、井上さん流の楽しみ方を伺いました。

分だからこそ、視聴者目線の提案ができるのでは?と考え直しました。番組で流す歌やイラストの制作のため、作品をより細部までみていて、今までと違った視点で作品をみるようになりました。例えば、私は絵を描く仕事をしていますから、どのような描き方をしたのかな?自分が筆を持ったならこういう描き方をしただろう、などと想像をしてみました、この人誰かに似ているなど邪道なことを考えてみたり…。日常的にそんなみかたをし、その感覚を逃さないようしている、自分なりの鑑賞法みたいなものができ、苦手意識が消えて、遅ればせながら美術鑑賞が楽しくなりました。

—井上さんの作品の独特な発想はどのように誕生するのでしょうか?

『びじゅチューン!』のテーマは、西洋美術、日本美術、建築、彫刻から、教科書で誰もが一目見た記憶のある著名な作品を毎年リストアップし、美術の歴史などに詳しいスタッフの方が集めた資料をもとに私が音楽を作るというチームプレーで誕生しています。

曲作りは、作品の第一印象で何を思うかを出発点に、想像を膨らませていきます。例えば、ボッティチェリの『ヴィーナスの誕生』をみて、私はヴィーナスが貝殻に乗ってどこかへ移動しているという印象を受けました。そこで、「どこに行くのかしら?」と考え、移動するなら裸じゃない方がいいな、服を着せよう!!どんな服がいいかな?制服だったら面白いかな……と、想像を膨らませた結果『委員長はヴィーナス』という歌が誕生しました。

—楽曲を作る際に気をつけていることはありますか?

作品や作家に対する敬意は忘れないように。とは言え、世間の人に興味を持ってもらうためにはある程度のひねりは必要ですから、笑えるけど、作家や作品を貶めるような笑いにしないという微妙な線引きはしているつもりです。

始めた時は、いつ怒られるかと思っていましたが、意外と美術界の方にも受け入れていただけているようでホッとしています(笑)。

—想像力を持って、自分なりの美術館賞を楽しもう

—今後、美術をテーマに新たな展開を考えていらっしゃいますか?

漠然としています。歴史のある作品と現代の技術を融合した楽しいものを提案し、美術への入口を広げていけたらと思います。

—最後に、このリーフレットを手にした方へのメッセージをお願いします。

美術鑑賞にルールはないと思います。

どんなに有名な美術作品も、自分と同じ「人」が作った物です。どんな状況で、どれくらい時間をかけて描いたのか、その時の状況を想像したり、作者の気持ちになったり、想像力を働かせ、自分なりの鑑賞法をみつけて楽しんでください。

井上涼(いのうえりょう) | 1983年6月10日生まれ。映像作家。兵庫県小野市出身。金沢美術工芸大学デザイン学科視覚デザイン専攻卒業。「快感」「楽しい」をテーマに映像(アニメ/実写)、イラスト、漫画、インスタレーション、パフォーマンスなど、クロスジャンルの制作活動を行っている。卒業制作作品「赤ずきんと健康」がBACA-JA佳作受賞。YouTubeとニコニコ動画で累計280万ビューを記録。2013年より、世界の有名美術作品を歌とアニメで紹介する「びじゅチューン!」(NHK Eテレ)の放送開始。作品内の作詞・作曲・アニメ・歌のすべてを手掛ける。

*「びじゅチューン!」(NHK Eテレ)

2013年より放送されている子ども向けのエンターテインメント番組(日曜午後5:55-)。毎回1つ美術作品をオリジナルのイラストと歌で紹介。井上さん独自の着目点からポップな絵、パロディタッチの奇想天外な歌詞、忘れられないメロディーが次々に飛び出し、子ども大人もひきつけられると好評。視聴者に「本物の作品を見てみたい」と思わせるなど、視聴者とアートの橋渡しを目指している。

◎都美セクション 新鋭美術家 2016

New-wave Artists 2016 — From the Public Entry Exhibition

2016年2月19日(金)→3月15日(火) ギャラリーC

「公募団体ベストセクション 美術 2015」展の出品作家の中から、これからの活躍が期待される新鋭作家数名を個展形式で紹介する展覧会です。それぞれの作家の個性あふれる作品をお楽しみください。

出品作家:武田司、戸田麻子、西村大喜、花澤洋太、森美樹

An exhibition introducing up-and-coming artists of great promise, selected from among artists appearing in "Best Selection 2015" and exhibited in solo exhibition format. Visitors can look forward to artworks infused with powerful individuality.

Artists: TAKEDA Tsukasa, TODA Asako, NISHIMURA Daiki, HANAZAWA Yota, MORI Miki



森美樹《姿》2013年
Miki Mori, Appearance of flowers, 2013

[展覧会基本情報]

◎都美セクション 新鋭美術家 2016

2016.2.19(金)→3.15(火)

東京都美術館 [東京・上野公園] ギャラリーC

開室時間:9:30-17:30(入室は閉室の30分前まで)

夜間開室:金曜日は9:30-20:00(入室は閉室の30分前まで)

休室日:3月7日(月)

主催:東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

観覧料(税込):一般 500(300)円/65歳以上300円

*1)は20名以上の団体割引 *学生以下無料

*身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその他の方(1名まで)は無料

*毎月第3土曜・翌日曜日は家族ふれあいの日により、18歳未満の子を同伴する保護者(都内在住、2名まで)は一般当日料金の半額

*いずれも証明できるものをご持参ください

*都内の小・中・高等学校の学校教育活動として観覧する場合、引率の教員は無料(要事前申請)

◎New-wave Artists 2016 — From the Public Entry Exhibition

February 19 (Fri) – March 15 (Tue), 2016

TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM [TOKYO, Ueno-Park] Gallery C

Opening Hours: 9:30–17:30 (Fridays, 9:30–20:00)

*Admission until 30min before closing time.

Closed: March 7 Mon.

Organized by: Tokyo Metropolitan Art Museum (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture)

Admission: General ¥500 (¥300) / Seniors 65+ ¥300

*1) Group rates – 20 or more people.

*Free admission for visitors College age or younger.

*Admission is free on presenting a ticket (or stub) for the concurrent "Botticelli and His Time."

*Free admission for visitors with physical disabilities, mental disabilities and atomic bomb disease (ID required) and one accompanying person.

*Tokyo Metropolitan Government has designated every third Saturday and following Sunday as "Family days". On these days, visitors residing in Tokyo and accompanying children 18 years of age or younger, can visit the venue for half off the regular admission. (ID required)

*In each case, please show identification.

*Free admission for schools in Tokyo visiting the venue for education purpose. (Pre application required)

美術への接し方、みかたが変わるきっかけは「びじゅチューン!」

—受験対策の美術鑑賞をきっかけに、美術館に足を運ぶようになりましたか?

それが……、そうはなりませんでした。

私は、何かを作り出すという自分の興味と職業の両立を目指し、グラフィックを専攻していたため、自分の目指す道とアートはまったく別物という感覚でした。自分の創作に関しては熱心ですが、美術鑑賞はみなければならぬものとして「観る」、美術史は必修科目として履修する程度で、実は苦手意識さえありました。

—では、いつ、どのようなきっかけで美術に対する意識が変わられたのですか?

2013年に子ども向け美術番組「びじゅチューン!」のお仕事をするようになってからです。お話をいただいた時には正直「大丈夫かな～」と思いましたが、美術をどうみたらいいのか分からない自